



# 神居古潭周辺 ボルダリレグガイド

～神居古潭の中心で「まっ」をさけぶ～

# 目 次

神居古潭という所 .....	2
本書に載せた課題について .....	3
交通・宿泊 .....	4
観光地 神居古潭 .....	5
気象・天気 .....	6
神居岩周辺ボルダーマップ .....	7
ケンジコモロ・梁山泊周辺	
ケンジコモロボルダーとシゲル岩	
梁山泊	
ポテト岩Ⅱとエンゴン岩	
三歩ボルダー	
プチカルマとキツツキ岩	
㊤ 岩と熊落とし岩	
エベレスト周辺	
神居岩周辺ボルダー .....	28
プライド	
嘆きの壁	
山奥	
神居古潭近郊エリア .....	35
中野川エリア .....	36
滝エリア .....	37
タキ岩 .....	
タマゴ岩	
ダウ	
ワランチ	
ポテトボルダー	
㊦ ボルダー	
グリモンボルダー	
春志内・上雨粉エリア .....	45
もも岩周辺・上雨粉エリアボルダーマップ	
5番ボルダー	
もも岩	
春志内ラッキーボルダー	
ピアガーデン	
上雨粉パンクロック	
幻	
あると便利なもの .....	58
ボルダーグレードシステム対比表 .....	59

## 神居古潭という所

神居古潭のボルダリングは1980年代前半、滝川同人αや旭教大ワNDERフォーゲルRC Tのメンバーらによって開拓がはじめられた。当初は梁山泊や熊落しの岩など、現在もトライされているクラシックが多く登られたが、当時クラッシュパットなどは当然なく、高さのある課題はボルトを打ち、支点をつくってトップロープで登られていた。(現在も梁山泊に残っている支点はその当時のものです。)但し、彼らはTRで登れて満足した訳ではなく、その後、フリーソロ、つまりボルダリングスタイルで「コロポックル(6a+)」や高さのある「みの虫(5+)」等を登りなおしていた。

「より良いスタイルによる試み」は当時から行われていたのである。グレード的にも1980年代後半までには「大ひらめ(6C+)」が登られ、当時北海道内でもっとも難しい課題だったと思われる。しかし、その頃はちょうどフェースのボルトルート全盛時代。トップクライマーの興味もボルダリングより、ルートに向けられ、それは赤岩青巖峡の発見で決定的になる。その後一部の地元クライマー等により、細々と既成課題の再登などが行われていたが、グレード的には停滞、いくつかのボルダーは苔むし忘れられた存在になっていた。それを打ち破ったのが1992年からのケンジコモロボルダーの開拓である。「AKR(6C)」を皮切りに、吉田和正氏によって次々に課題が設定され、「ターボチャージド(7a)」「パラドックス(7b)」、と次々に限界が押し上げられた。そして、その後まもなく来道した平山ユージ氏によって当時プロジェクトだった「ハブ(7b+)」が初登(94年)され、その後来道した小山田大氏等のトップクライマーにも再登された。この課題は道内の二段のランドマークとなっている。

それからまもなく、世の中ボルダーブームとなり、さらに苔むして自然に返るボルダーもある中、新しいボルダーの発見、再び大掃除をしての再開拓が行われ、現在も決して多くはないがやる気のあるボルダラーたちによって登り続けられているエリアである。

## 本書に載せた課題について

ここに掲載したプロブレムは、昔から登られ続けている名クラシックと呼べる物に、ここ数年のボルダリングの中から、特に初中級者向けのプロブレムにお勧めできるものを数多く載せることに留意しました。昔からボルダリングは様々なホールド制限をして登られており、その多くは名前もグレードもなくその場限りの「遊び」として、「初登」されてきました。よって本書の中にも、かつて誰かが登った課題が、「別の名前」で呼ばれている事があるかもしれません。その場合、ご連絡いただければ、確認の上、順次訂正していきます。

また、グレードは基本的にはフランス式で行いこれに段級グレードを付記しています。時代的にはアメリカのVグレードが今後のスタンダードになる気もしますが、過去、神居古潭の課題がVグレードでグレーディングされた事がない為、今回は対比表にとどめています。気になる人はそちらで確認してください。実は、本書の一番の狙いは「グレード感覚を身につける」事にあります。特に数手からルート並みの手数のものまでを一つのグレードシステムに当てはめなければならない事や、どうしてもリーチ差が出てしまう場合もあるため、課題によって、特に付記するように努めました。また、ボルダリングとしては高さのあるもの、ランディングの悪いものもなるべく書くようにしました。危険度を見極めるのも、ボルダリングの大事な能力の1つであり、個人差もあると思いますが、グレーディングに影響するのは明らかなファクターゆえ、気になる人は参考にしてみてください。

道内の他のボルダリングエリアと比べて、神居古潭が最もいろいろなボルダラーにトライされている事から、ここでしっかりグレーディングした物を他のエリアでのグレーディングの際に役立てて頂きたいと考えています。

- ..... 凡例 .....
- FA=ファーストアッセント（初登者）
  - ST=スタート
  - SDS=シットダウンスタート
- .....

神居古潭の岩は緑色変岩や蛇紋岩等地下の変成作用によって硬くなった岩で、石狩川沿いのものは川に磨かれツルツルだったり、山の中のは、ミルフィーユみたいに薄く剥がれ易いもろい部分があったりする。もろい部分には接着剤を使用している所もある。このような行為は決して推奨されるものではないが、TR用のボルト支点のように、いつか解決されていく問題だと信じている。ただ、チップングは未だ確認されていない。今後もないでしょう。ね。

## 交通

一般的に車が便利。札幌方向から国道12号線で旭川に向かうと、旭川の少し手前、トンネルの脇から神居古潭に入る道がある（標識あり）。まもなく、トイレと駐車場がある。JRなら旭川駅まで行き、そこからタクシー等を使うか、旭川駅にはレンタルサイクルもあるらしいのでサイクリングロードで神居古潭に行くという手もある（1時間くらい）。

## 宿泊

旭川まで行けば、豪華ホテルからユース、キャンプ場まで何でもある。神居古潭にはトイレもあるので、車中泊もできる。長距離トラックの運転手、営業に疲れたサラリーマンもよく止まっています。テントも公認ではないが、吊り橋を渡った所に平らな芝草スペースもあり、日中撤収すればOK。水道もある。

テントを張りっぱなしでも、南山商店のおばちゃんに一声かければいけそうだが、かつて、テントに引きこもって餓死しようとした者が居た。おばちゃんに心配をかけないように毎日挨拶をしよう！

## 観光地 神居古潭

神居古潭は、アイヌの様々な伝説の残る場所です。アイヌ語で、カムイ（＝神が居る）コタン（＝里、ところ）を意味する旭川を代表する観光地です。…といっても観光客は白い吊橋やＳＬの周りを散歩して帰っていくので、ボルダリングエリアで観光客と一緒にいる事はまれです。それでも、アプローチ道ですれ違う時などは、クライマーがクラッシュパットを背負っていると「そんな荷物持って、何処で泊まるんですか？」等の質問をされる事があります。ボルダリングの普及と理解の為に、社会人としての節度ある態度で接しましょう。

クライマーも神居古潭を観光してもかまわないが、すぐに飽きてしまうだろうから、そんな人は今話題の旭山動物園へ。あるいは美瑛や富良野へドライブして「北の国から」気分に入るのもいいのでは？

食いだおれたい派の人へ。旭川、富良野、美瑛には古い食堂からおしゃれなレストランまで何でもある。「るるぶ」でもチェックして下さい。以下、個人的なオススメ。

「あさひ」…食堂。北海道ゆかりのクライマー山村氏が旭川に来ると必ずよるらしい。とにかく安い。

住所：旭川市旭町

「蔵」…ラーメン屋。ラーメンで有名な旭川ですからいっぱいあります。

旭川時代、家の近所だったのでよく行った。

住所：旭川市豊岡 5 条 2 丁目 Tel 0166-32-2345

「らーめん番々」…ラーメン屋。ラ・パーク長崎屋の近く。こちらも最近のお気に入り。

住所：旭川市春光 6 区 2 条 4 丁目 Tel 0166-52-7388

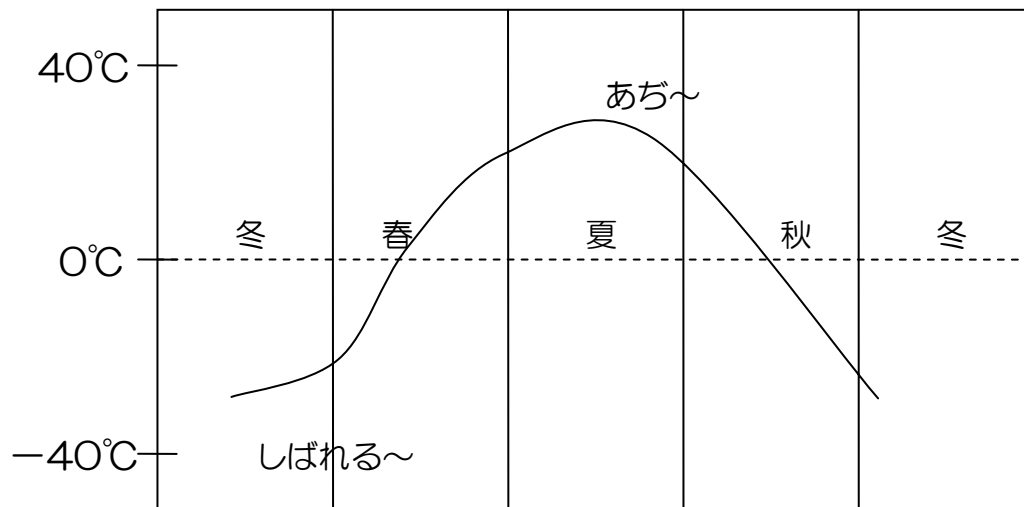
「七福弁当鈴木商店」…弁当屋。旧秀岳荘旭川店の近く。何かが登れると「５００円で適当に」で作ってもらった弁当をおごる事になっていた。あぶら系～

住所：旭川市 7 条 7 丁目七福ビル 1 F Tel 0166-22-3307

「伴天連茶屋」…旭川は居酒屋の多い町。ここも何か登れると飲みに行った。ちと高いが、贅沢したい時に。

住所：旭川市 3 条 5 丁目左 9 Tel 0166-22-5993

## 気象・天気



- ◎ 冬の長い北海道も3月になると日差しも強くなり、日中の太陽が出ていれば南向きの岩場（ケンジコモロ）が意外と登れる。ただし、暖かすぎると岩の上にのった雪が溶け出し、しみだして登れなくなる。
- ◎ 4月、5月は神居古潭のメインシーズン。ヤブも少なく、陽だまりの出来る心地よいシーズンだ。ただし、水場の近くでは大量のブヨが発生する。虫除けは必携です。うるしが出てくるのもこの頃なので、弱い人は気を付けよう。
- ◎ 梅雨のない6月から8月も岩さえ乾いていればもちろん登れる。しかし、結露する事があったり、ヤブの高さが背丈を越える程になったり、何より、内陸地旭川は盛夏には、30℃を越える。又メ手の方は1グレードは上がる事間違いないので、その手の方は近づかないほうがイイかも。
- ◎ 9月は時折暑い日もあるが、10月から11月上旬も神居古潭のメインシーズン。春に宿題が出来た人はここを狙いましょう。止まらなかったあのホールドが止まるかも…
- ◎ 12月、1月はほぼ毎日雪が降る。気温は-30℃以下にもなる。運がよければ、鹿かハヤウチマンに会えます。一般の方は行かないほうがいいでしょう。